

男女共同参画社会における地盤工学会の今後の活動

共催：(社)地盤工学会、(社)土木学会 / 後援：男女共同参画学協会連絡会

日時：2009年8月18日 13:30～15:00

会場：関東学院大学金沢八景キャンパス F-301 (第44回地盤工学研究発表会 第4会場)

参加費：無料

少子高齢化・経済の成熟化といった社会情勢の変化の中、人々が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、男女の性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現が求められています。(社)地盤工学会も「男女共同参画学協会連絡会」にオブザーバー加盟学協会として参加し、これまで4年間にわたり「男女共同参画」に関するディスカッションセッションを開催して、「学」、「産」などの視点から現状の問題点についてみてきました。

本年度は、女子学生が将来の進路を考える際の参考とすべく、ダイバーシティに取り組みながら活躍している技術者を招き、それぞれの視点で講演していただくとともに、参加者と討議を行います。

＝プログラム＝

座長：西垣 誠 (岡山大学)

13:30～13:40

(1)本セッション開催の主旨説明とこれまでの取り組みの紹介

杉本 映湖 (ダイヤコンサルタント)

13:40～13:55

(2)全国土木系女子学生の会の活動について

平口 未帆 (全国土木系女子学生の会会長)

13:55～14:40

(3)事例紹介

i.女性技術職の立場から

田中 真弓 (鹿島建設)

ii 女性技術職を部下に持つ立場から

佐々木 達哉 (応用地質)

iii 育児休暇を取得した男性技術職として

柏倉 博 (大成建設)

14:40～14:55

(4)発表者と聴衆による討議

14:55～15:00

(5)今後に向けて

岡村 美好 (土木学会 男女共同参画小委員会委員長；山梨大学大学院)